

酢豚に「パイナップル」



大反響・大注目でした。

この記事は、営業部の「外川 芳伸」が担当しました。

こんにちは。
営業部の外川です。
12月に入りだいぶ寒くなって参りました。こうなるとやはり、食べたくなるのが熱々のラーメンですよ。
そんな、熱々のラーメンに関するカンダー押しのNEWアイテムをご紹介します。

先日横浜で開催されたラーメン産業展でも、**大反響・大注目されたその名も“メタル丼”**。
ステンレス二層構造により、保温効果が飛躍的にUPした次世代のどんぶりです。
もちろん耐久性にも優れており、当然割れることはございません。

ステンレスの美しさを最大限発揮した
【ステンオールミラー磨きタイプ】と、
シックな
【ステンつや消しタイプ】、
陶器の風合いを上品に表現した
【カラー塗装タイプ 黄・赤・黒】
を展開しております。
(カラータイプでは、安全なシリコン塗料を約280℃で施した焼きつけ塗装を採用しています。)

また、製品化はされていませんが、サンプル品の一つとして酸化発色加工を施した【玉虫色】のどんぶりも製作してみました。
酸化発色加工の特長は、
1. 金属の質感が失われず、金属光沢があります。

2. 酸化発色皮膜は優れた耐候性、耐食性があります。使用する場所、用途、メンテナンスによっては、半永久的に劣化しません。
3. 酸化発色皮膜は塗料や染料を一切使用していない為、この方法によって作られた製品は一般のステンレス製品と一緒にリサイクルができ環境負荷の低減に繋がります。
陶器にはないステンレスならではの全く新しい仕上りに大満足することができましたし、実は社内での人気は最高でした。
ですが、最大の難点である「超高額」を解決できませんでした…。

と、いうことで、酸化発色加工はあくまで参考出品アイテムとしての展開でしたが、
【ステンオールミラー】
【ステンつや消し】
【カラー塗装】
のすべてが非常に魅力的なアイテムとなりました。
ラーメン産業展で人だかりができた事も自信につながりました。



このどんぶりで、熱々のラーメンを食べ寒い冬も元気に過ごしましょう！

社員紹介



営業事務の竹之内朋美と申します。
入社して、ちょうど10年となりました。
時が経つのは早いものです。
「竹之内？あんまり聞き覚えのない名前だなあ」と、言う方もいらっしゃると思いますが、11月に結婚し、西村から竹之内へと名字が変わりました。
旧姓の頃は、ニシムラトモミという名前で、名乗る度に、芸能人？などと言われることも多々ありました。
病院などに行き、フルネームで名前を呼ばれると、まわりの視線がちょっと気になったりして・・・。
今は「タケノウチさん」と呼ばれても、まだピンとこなく、あ！私のことだ！なんてハッとしたりします。
まだ慣れない家事等で、あたふたしてありますが、家庭と仕事、そして仕事！！どちらもがんばります。
どうぞ、これからも宜しくお願い致します。

新潟は、紅葉がきれいな季節となりました。(この酢豚にパイナップルが届く頃にはもう終わりでしょうか・・・)
皆さんの地域はいかがですか？
素敵な紅葉スポットはありますか？
日に日に寒くなってきて、雪が降りそうな寒——い日もありますが、皆さん風邪には気をつけて下さい。
特に、インフルエンザには！！！！



〒959-1272
新潟県燕市杉柳912
TEL:0256-63-4541 (代表)
FAX:0256-64-2960
e-mail:kanda@kankuma.co.jp
http://www.kankuma.co.jp/



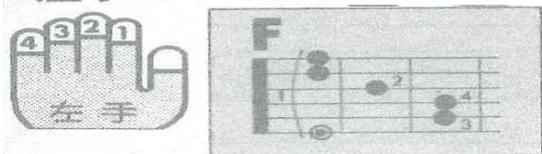
ギターを鳴らせ！

この記事は、業務部の「角田 寿人」が担当しました。

みなさんこんにちは。
寒くなってまいりまして外で身体を動かす機会が少なくなってきました。
暖かい部屋で読書・スポーツ観戦・音楽鑑賞等々楽しく過ごされていることと思います。

誰も一度は楽器が出来たらなあと思ったことがあると思います。
ピアノ・ギター・バイオリン・管楽器・打楽器等…。
私はギターを弾いています。
ギターに挑戦して途中で挫けた人も多いかと思えます。
途中で止めた人に聞くと、難しくて出来ないコードがあると言います。
そのコードとはバレーコードと言ひ、1本の指で全部の弦を押さえるコードの事です。

<左手のコード>



↑
(基本的なバレーコード)

バレーコードを使わなくても簡単なコードで弾ける曲があるので挑戦してみましょう。
初心者向けのフォークソングの定番です。

さらば青春 小椋佳 作詞・作曲

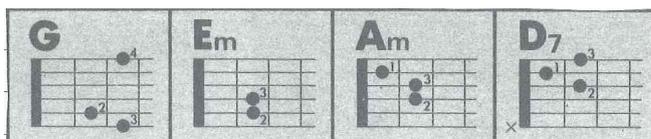
G Em Am D7
僕は呼びかけはしない 遠く過ぎ去るものに

G Em Am D7 G
僕は呼びかけはしない かたわらを行くものにさえ

G Em Am D7
見るがいい 黒い水が 抱き込むように流れて行く

G Em Am D7
少女よ 泣くのはおやめ 風も木も川も土も

G Em Am D7 G
みんな みんな たわむれの口笛を吹く



レディーファーストと日本人

この記事は、編集担当の「奥村 耕一」が担当しました。

さて、今回のテーマは「レディーファーストと日本人」。
今では聞きなれてしまった「レディーファースト」という言葉、昭和初期に出版された辞典には掲載されていたそうです。

一般的には、「ドアを開けて先に通す」というさりげない気遣いから、「ディナーの際には女性が食事に口をつけて一言いうまで食べずに待つ」なんていう気障な行動を指します。

いずれの行動も「待つ」「譲る」という行為に美学を感じる日本人には抵抗なく定着してきたものと言えます。

もっとも現代は女が強い。男が譲らなくなつて、どんどん前を歩いちゃいますし、プロレスラーより「ギャ○曾○」みたいな子の方が断然食べます。

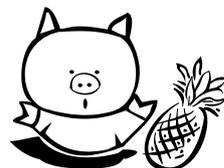
しかし「レディーファースト」発祥の地イギリスでは、「紳士的な行動」

の他にも、違う意味が隠されているようなのです。

欧米における「騎士道」で最も不名誉な死に方は「暗殺」による死亡でした。中世の騎士は物陰に潜む刺客や食事に盛られる毒に常に警戒していたのです。

そこで、ドアの向こうの待ち伏せにやられないよう女性を先に通し、食事に毒が盛られていないか確認するために女性に先に食べさせる習慣が定着し、それが「レディーファースト」の始まりだとも言われています。

「女性への優しさ」というのは、弱い男の単なるこじつけだったのかも知れませんがね。



酢豚に「パイン」

カンダにご縁のあった方
にお届けします！



株式会社カンダ
〒959-1272
新潟県燕市杉柳912
(流通センター入口)
TEL:0256-63-4541 (代表)
FAX:0256-64-2960
e-mail:kanda@kankuma.co.jp
http://www.kankuma.co.jp/

ホームページもご覧ください
<http://www.kankuma.co.jp/>